

## 1. 趣旨

この報告書は、平成 27 年度に策定した「市川市立図書館運営基本計画 実施計画(平成 27 年～29 年度)」の実施結果について評価と分析を行い、今後の図書館運営に活かしサービスの向上に資するものである。

## 2. 実施結果・評価概要

図書館運営の目標として立てた 3 つの柱の下に掲げた全ての事業に取り組むことができた。

一つ目の柱「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、次期計画期間で予定している IC タグによる全館での蔵書管理に向けて着実に準備を進め、また、利用者の利便性の向上のため関連施設と連携を強化し市北部地域への図書館サービスの拡大を図った。二つ目の柱「子どもの成長をサポートする図書館」では、子どもやヤングアダルト世代向けの多様なイベントを行い、また、教育センター等と連携して継続的に調べ学習を支援するなど、子どもの読書環境の充実に努めた。三つ目の柱「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」では、地域の魅力や情報を伝えるために、関連機関と連携した展示やホームページからの情報発信を行った。全体として、目標はほぼ達成することができ、3 カ年の図書館運営は一定の成果を上げたといえる。

今後は、次の 3 カ年で予定している ICT 機器を使った蔵書管理やデジタルアーカイブシステムを活用した情報発信等、効率的かつ効果的な図書館運営を進め、市民が全市域で様々な図書館サービスを利用できるよう努めていく。

### [ 3 カ年の実施結果と評価 ]

#### 一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

##### 施策の方向

様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持

図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実

関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供

##### 具体的な施策

- ・蔵書の維持と更新
- ・利用に応じた様々な形態の資料の充実
- ・効果的な蔵書管理
- ・資料保存のための書庫の確保

- ・レファレンスサービスの充実
- ・利用しやすい情報環境の整備
- ・生涯学習機会の拡充

- ・関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実
- ・大学図書館との連携と利用の促進
- ・ボランティアとの連携強化

#### 平成 27 年度～平成 29 年度の主な取り組み内容

積極的な資料の更新／国立国会図書館デジタル化送信サービスの実施／行徳図書館の IC タグによる蔵書管理の開始・自動貸出機の導入／中央図書館蔵書への IC タグの貼付・全館 IC 化準備／地域資料の電子化(中央)／音楽配信サービスの導入(市川駅南口)／保健センター赤ちゃん講座・千葉商科大学・地域イベントでの登録促進／特集展示と併せた各種講座の実施／大野公民館図書室の蔵書管理を図書館と一元化／大学とのネットワークの強化(イベント等の相互PR・インターンシップ受入れ・紹介状発行)／図書館関連ボランティアとの連携(イベント連携・障がい者向け資料の作成)

#### 評価と今後の方向性

評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
全館での IC タグによる蔵書管理に向けた準備を進め、行徳図書館では先行して自動貸出機等を導入し IC タグによる管理を開始した。関連機関やボランティアと連携した新規イベントや特集展示を積極的に展開し、サービスの拡大や PR に努めた。大野公民館図書室の蔵書管理を図書館と一元化したことで資料検索や予約等が可能となり、北部地域住民の利便性の向上に繋がった。この数年、利用登録者数が伸び悩んでいるが、資料や情報の充実と利用しやすい環境整備を進め、図書館全体で市民の学びが支えられるよう努めていく。				

## 二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

### 施策の方向

発達に応じた豊かな読書のための  
環境整備

公共図書館と学校等との連携の強化

### 具体的な施策

- ・児童・青少年資料の充実
- ・行事の実施と情報の発信
- ・レファレンス・読書相談の実施
- ・ヤングアダルトサービスの実施
- ・出張おはなし会・学級招待の実施
- ・調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

### 平成 27 年度～平成 29 年度の主な取り組み内容

資料の更新／えほんの会等のプログラム見直し／関連機関と連携したイベントの実施／大人に対する子どもの本についての相談会の実施／商業施設及び地域イベントへの参加／小・中学生向けブックリストの改訂と乳児向けブックリトの発行／子ども向けパスファインダーの発行／中高校生向け「Young Adult 通信」の発行／中高生参加型イベントの実施（特集ポスター・キャラクター募集・本のPOP作成・手作り絵本等）／出張おはなし会・学級招待の拡大充実／教育センターとの連携による調べ学習に対応した資料提供

### 評価と今後の方向性

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>学校、幼稚園等へ出張して行うおはなし会の拡大や地域イベントへの参加、関連機関と連携した多様なイベントを積極的に実施した。また、中学・高校生の意見を参考にした参加型イベントの開催や年代に応じたブックリストの配布等、子どもたちと図書館や本を結びつけるための様々なアプローチを行った。図書館司書と学校の担当者との研修会に参加し、学校での調べ学習のための資料提供を行う「学校図書館支援センター事業」も活発に利用され成果をあげている。今後も、発達に応じたきめ細やかなサービスを提供するため、随時イベント等の見直しを行い、子どもの読書環境の整備に力を入れていく。</p>				

## 三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

### 施策の方向

市川市の歴史・文化の保存と継承

行政の情報拠点としての役割

### 具体的な施策

- ・地域行政資料の収集と整理
- ・地域資料の保存
- ・地域情報の積極的な発信
- ・行政情報の市民への提供
- ・行政各課への情報発信

### 平成 27 年度～平成 29 年度の主な取り組み内容

地域行政資料の積極的収集／特別コレクションの新刊から古書までの積極的収集／地域情報データベースのコンテンツの追加更新（市川ゆかりの作家・市川の地名・音楽等）／著作権保護期間満了の地域資料の電子化（貴重な行政資料・地図・楽譜）と公開／関連部署、機関と連携した行事や展示の実施／市の刊行物の販売と市民向け各種冊子類の配布

### 評価と今後の方向性

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>地域行政資料の収集を積極的に行い目標の蔵書冊数 5,400 冊を達成した。市川ゆかりの人物や音楽、地名に関連する情報を整理しホームページで発信し、関連部署と連携した地域の文化や歴史に関わる展示を実施した。また、市民向け地域行政情報冊子の配布を行うなど、市川の情報が市民に伝わるよう努めた。そのほかに、貴重な地域資料の電子化を継続的に進めた。引き続き、行政各部署等と連携し、幅広く資料の収集を行い、平成 30 年度に導入するデジタルアーカイブシステムを活用し、市川市の歴史と文化の保存と継承に努めていく。</p>				